



初開催となる全日本大会には81名が参加した!!



女性ウェイクサーファーもソールクラフトを愛用!!



初代王者のボードは今話題のソールクラフト!!



第2回大会は7月9日(日) 場所はロータリーピア88!!

# 第1回全日本ウェイクサーフィン大会開催!!



大会はヤンマーサンセットマリーナで開催。大会当日のマリーナには多数の参加者が集まり、大きな賑わいを見せていた。女性選手も参加し、大会に華を添えた。



大会には海外選手を含む81名の参加があった。クラス分けもスキルに応じて細分化されており、自分に合ったカテゴリーで参戦できるため安心だ。



会場にはウェイクサーフィンに関連する展示も行われており、人気メーカーのソールクラフト社のウェイクサーフボードを中心に魅力的な展示が行われていた。



当日はヨットの祭典「YANMAR CUP in BIWAKO」が開催され、チームPICK VIが総合優勝。他にもバランス感覚を養うトレーニング体験も行われていた。



陸上ではワインチンコンテストが人気を集め、海上ではSUPヨガ体験も開催された。大型イベントの同時開催により、ヤンマーマリーナは大盛況となっていた。



(一社)日本ウェイクサーフィン協会 代表理事 川崎 吉浩 氏  
 ヤンマー株式会社 代表取締役社長 山岡 健人 氏  
 (公財)日本セーリング連盟 会長 河野 博文 氏  
 守山市長 宮本 和宏 氏



取材協力(一社)日本ウェイクサーフィン協会(本部)滋賀県守山市水保町1380番 事務局TEL:06-6312-3207 URL:http://japan-wakesurfing.com

5月21日(日)、滋賀県守山市のヤンマーサンセットマリーナで「第1回全日本ウェイクサーフィン大会びわ湖シリーズ2017第1戦」が開催された。大会はYANMAR PREMIUM WATER FESTA 2017 in Biwakoの中のイベントとして開催されており、他にもヨットの祭典「YANMAR CUP in BIWAKO」が開催されていた。2大ビッグイベントの同時開催という事もあり、マリーナは朝から大盛況。注目のウェイクサーフィン大会ではカテゴリーをブロンズレベル(CWSA規定に準拠したレベル。競技者としてより高みを目指す方。)と、デベロップメントレベル(JWSA独自の規定に準拠。入門者から初級者まで気軽に参加で

きる。)に分けており、合計8つのディビジョンで争われた。これにより、それぞれが自分に合ったクラスで大会を楽しめるメリットも生まれていた。大会には海外選手を含め81名が参加。アウトローメンサーフクラスでは今高い注目を浴びているソールクラフト社のサーフボードを巧みに操った福島龍悟選手が、弱冠16歳にして見事男子の初代日本チャンピオンの座に輝いた。この大会は全4戦が開催され、次回大会は7月9日(日)、会場はマリーナリゾートロータリーピア88で開催予定だ。腕に自信のあるウェイクサーファーの皆さんには是非参加して、自分のスキルが今日本でどのレベルにあるのかを確かめて欲しいと思う。



アウトローウーメンズ混合 1位 Nadezda Ilinich 選手 2位 鈴木 清美 選手 3位 Anna Romanova 選手  
 アウトローメンズサーフ 1位 福島 龍悟 選手 2位 山田 欣也 選手 3位 宮本 幸博 選手  
 アマチュアメンズサーフ 1位 Sang Han Jung 選手 2位 江口 勇二 選手 3位 井上 まさき 選手



アマチュアウーメンズサーフ 1位 Sunhwa Kim 選手 2位 江口 純子 選手 3位 猪木 敬子 選手  
 アマチュアメンズキム 1位 百中 敬 選手 2位 山本 信光 選手 3位 長山 豪 選手  
 マスターメンズサーフ 1位 寺田 アムロ 選手 2位 山本 信光 選手 3位 井上 まさき 選手



ピギナーウーメンズサーフ 1位 石川 和英 選手 2位 東 秀明 選手 3位 向井 康哲 選手  
 ピギナーウーメンズサーフ 1位 崎 淳子 選手 2位 川村 奈美 選手 3位 松本 綾子 選手



カテゴリーを2つに分け、ディビジョンを全8クラスとした事で、レベルに合ったエントリーが可能だった。